

平成 30 年度 事業報告

平成 30 年 4 月 1 日から

平成 31 年 3 月 31 日まで

1 事業の状況

① 研究助成事業

「平成 30 年度公益財団法人伊藤記念財団助成応募要項」を当財団のホームページにより掲載するほか、国公立大学等に対する書面による掲示依頼の方法によって公募を行ったところ、助成の申請件数は、合計 205 件でした。専門委員会で選考を行い、理事会において助成の対象に決定した研究のテーマ、研究者、助成金額は、84 件、101,200 千円でした。

② 伊藤記念財団賞授賞事業

食肉に関する学術上の研究に優れた業績が認められ、将来の活躍が期待される研究者に伊藤記念財団賞を授与することとし、本年度は、2 名の者に授賞し、その業績の概要(授賞理由)を「平成 29 年度「食肉に関する助成研究調査成果報告書 VOL.36」に掲載したほか、第 4 回伊藤記念財団賞の授賞者の募集を行い、選考委員会を開催して審議しました。平成 31 年 2 月 28 日開催の理事会において受賞者として決定した研究者は 3 名です。

③ 学会等事業助成事業

食肉に関して、研究水準が十分高く、かつ、経理的基礎と会員の広がりがあると認められる学会又は研究会等が実施主体となって行う①研究者の海外研究集会への派遣、②国内での国際研究集会の開催及び③国内学会・研究集会時におけるセミナー等に要する経費の一部に対して助成することとし、本年度は、3 学会等に助成金を交付するとともに、平成 31 年度助成事業について募集要領を送付して申請を募り、理事会において審議し、助成対象を決定しました。

④ 大型研究プロジェクト事業

食肉の生産、処理、加工等に関して専門委員会を経て、理事会において課題、研究者、事業費等を決定し研究、調査を実施することとし、平成 30 年度は「食肉の健康寿命及びその関連要因に与える影響」と「と畜・解体処理(特に牛の背割り)の自動化・効率化に関する研究開発」の 2 つを課題として選定し研究を実施いたしました。また平成 31 年度につきましても同研究課題を継続して実施することについて専門委員会で審議を行い 2 月 28 日の理事会において決定いたしました。

⑤ 情報普及事業

平成 29 年度の助成研究調査対象者から研究成果報告書を、平成 30 年 4 月 19 日までに提出を受け、所要の調整を行ったうえ、11 月に「平成 29 年度食肉に関する助成研究調査成果報告書 VOL.36」として 540 部を製本のうえ、研究者、都道府県、国立国会図書館、都道府県立図書館、国公立大学、同図書館、関係諸団体等に対して無償で配付しました。

またよりわかりやすい情報公開を目指して、ホームページをリニューアルし、その一環として「食肉に関する助成研究成果報告書」をはじめとして「日本食肉文化史」や「ハム・ソーセージ図鑑」などの記念出版物もすべて PDF で閲覧可能な状態にいたしました。

さらに、食肉の良さを広く認知させることを目的として、啓蒙冊子「お肉を知ろう」を 10,000 部作成しました。本冊子はホームページで紹介して希望者に無償で配布したほか、PDF でも閲覧できるようにいたしました。

2 役員会の開催

- ① 第 20 回理事会 平成 30 年 4 月 24 日
- ② 第 21 回理事会 平成 30 年 6 月 13 日
- ③ 第 22 回理事会 平成 31 年 2 月 28 日

3 評議員会の開催

第 7 回定時評議員会

日 時 平成 30 年 6 月 13 日

4 監事監査

実施日 平成 30 年 4 月 11 日